

国有林野事業における木材生産について

1 国有林材の生産

- ・ 全国の素材生産量に対する国有林材のシェアは2割弱。
- ・ 国有林野事業の抜本的改革により、素材生産の実施は全て民間事業者による請負。
- ・ 現在は地球温暖化防止対策として間伐を推進。

2 国有林材の販売（資料1、2）

- ・ 民間からの需要に基づき、材の性質に応じて、
一般材については原木の市場における競争
合板や集成材等の原料材については、安定供給のための協定に
基づき工場等へ直納（システム販売）
を基本に販売。
- ・ 国有林材（素材と立木の総量）の販売数量は17年度以降やや減少、これは主伐の減少等によるもの。

3 最近の価格下落への対応について

- ・ 住宅着工の減少などにより、木材の需給ギャップが生じ、価格が下落していることを踏まえ、
当面の間、国有林材の供給を抑制
地域レベルでの需給情報の交換を行う場等を通じ市況を把握
し、きめ細かな調整
等の対応を実施。
- ・ 現在は東日本においては価格回復の兆し。

4 皆伐の考え方について（資料3）

- ・ 被害木などへの対応を除き極力抑制

全国の素材生産量等

(単位:千m3)

年度	全体 (A)	国有林 (B)		国有林割合 (B)/(A)	国有林のうち システム販売 (C)	(B)-(C)/(A) システム販売を 除く国有林割 合
			うち生産量			
平成18年度	16,609	3,017	1,527	18%	422	16%
平成19年度	17,650	2,940	1,711	17%	524	14%
平成20年度	17,709	2,851	1,828	16%	654	12%

※ 国有林素材生産計には、立木販売(分収造林・分収育林含む)の素材換算値
(立木販売数量にN63.7%、L54.8%を乗じた数値)を含む

出典: 県全体素材生産量は、木材需給報告書による
国有林数量は、国有林野事業統計書、実行総括表による

全国の人工林面積

	全体 (A)	うち国有林(B) (官行造林含む)	国有林割合 (B)/(A)
面積 (千ha)	10,361	2,276	22%

出典: 森林資源現況総括表(平成19年3月現在)

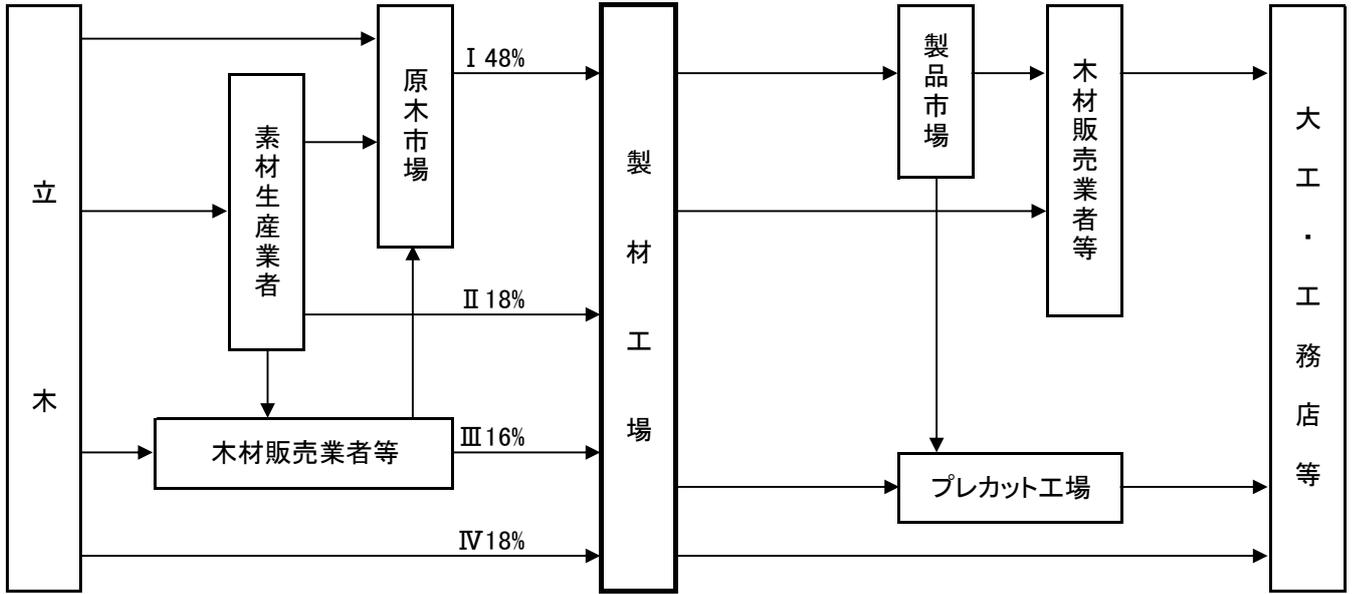
国有林の間伐の推移

(単位:千m3)

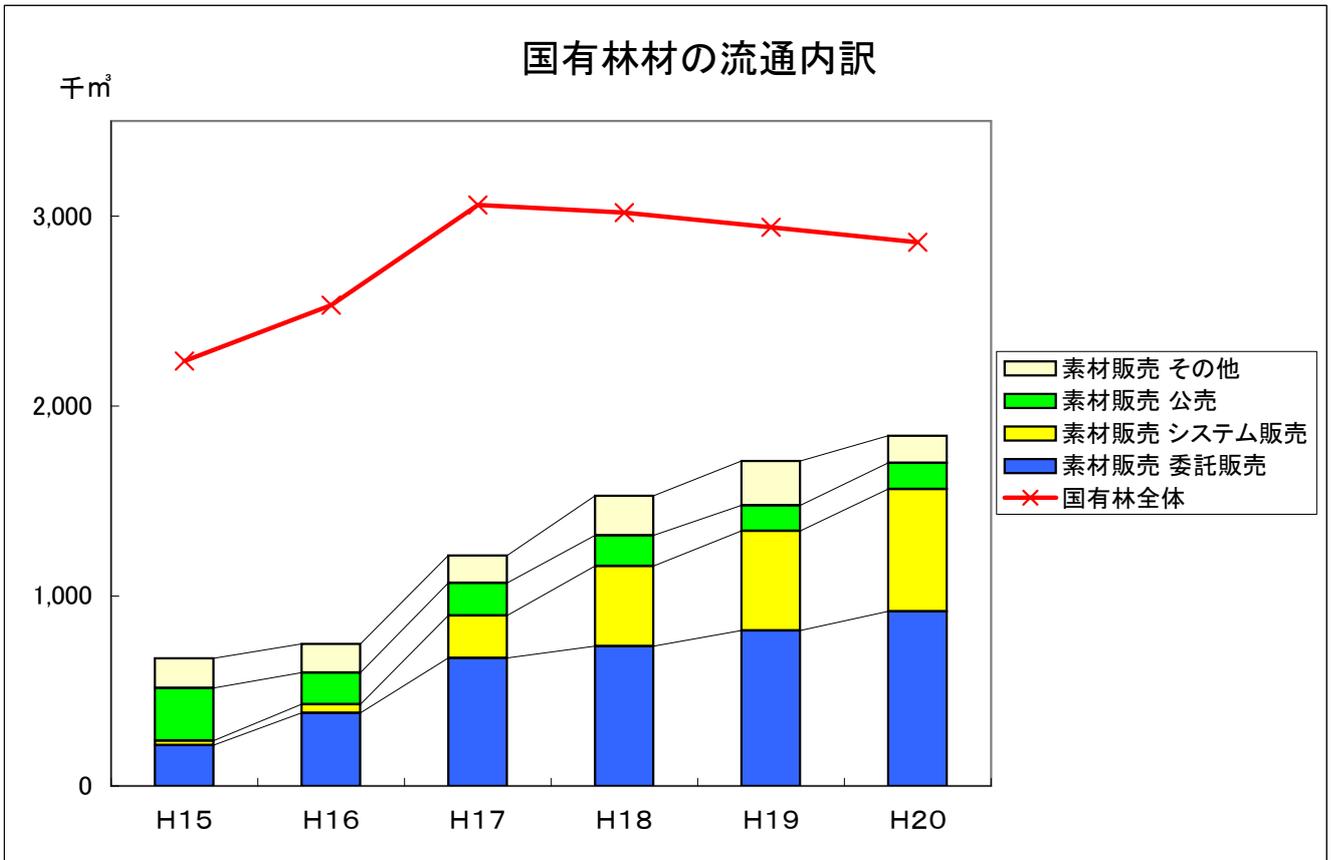
年度	間伐	うち	
		利用間伐	伐捨間伐等
平成18年度	4,178	3,372	774
平成19年度	5,597	3,506	2,037
平成20年度	5,644	3,627	1,951

・国有林野事業実行総括表による

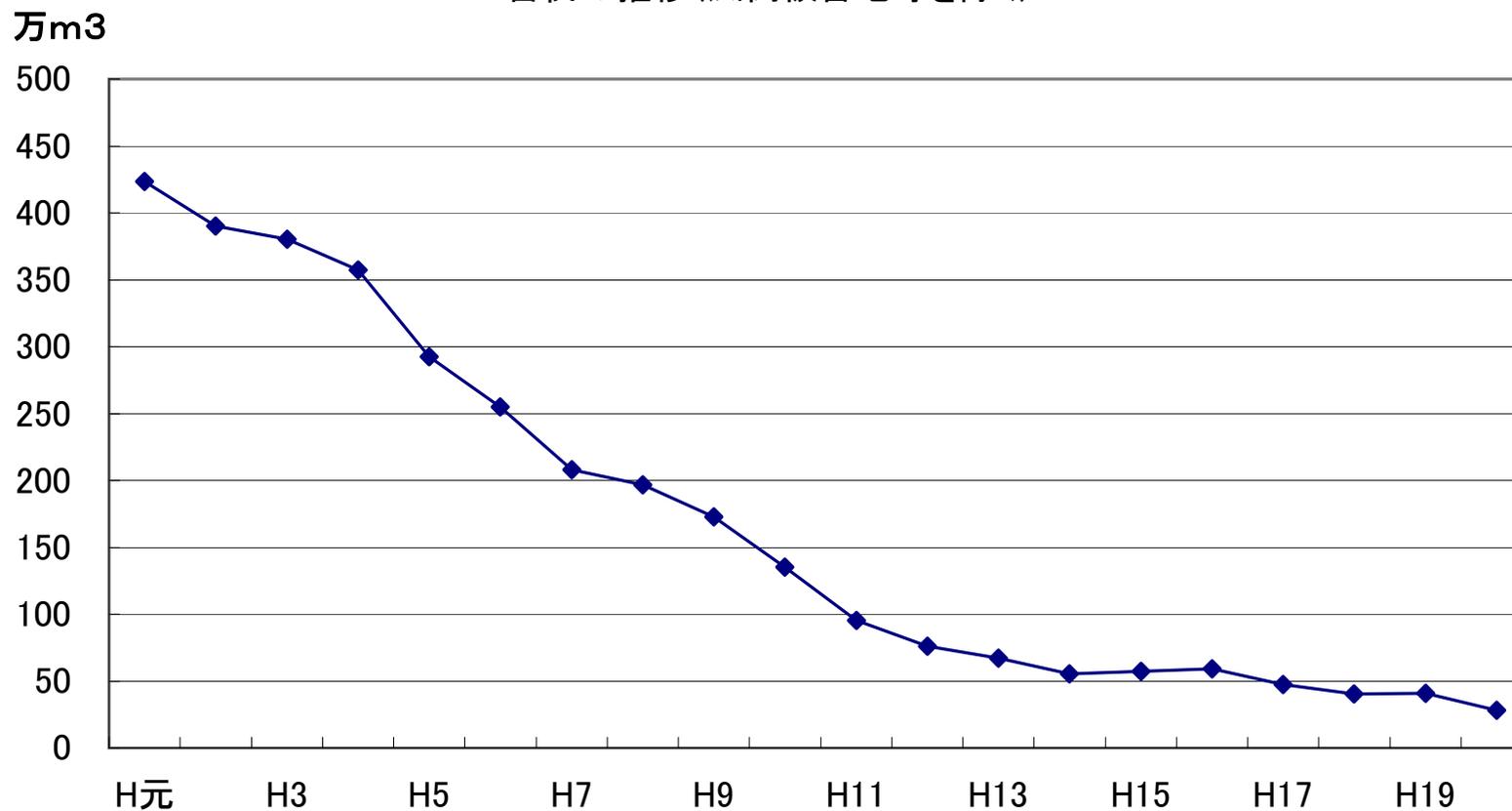
木材(素材)の流通構造



注: I、II、III、IVは、素材の流通割合で国産材全体の量(平成18年)



皆伐の推移(風倒被害地等を除く)



※ 風倒被害地等・・・風倒被害地、立木補償地、分収造林、分収育林ほか(一部推計)